

名張中学校から2名の生徒が「なばりピースメッセンジャー」として参加！！

## 《なばりピースメッセンジャーとは》

名張市から委嘱を受けた市内5中学校の生徒が集まり、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、戦争をしない・させないために自分たちができることを考えるという名張市のプロジェクトとなります。年間5回の学習会に参加し、最終は12月に行われる予定の「ふれ愛コンサート」にて、学習の成果発表を行う予定となっています。

本校からは、2年生の代表2名がピースメッセンジャーの委嘱を受け、1回目の学習会を5月27日に終わっていますので、2人からその感想と今後の抱負が、7月19日、1学期の終業式の前に、全校生徒に対して、Google Meet にて配信されました。

## 《1回目の学習会の感想や今後の抱負》

なばりピースメッセンジャーでは、5中学校の代表が集まり、計10人で平和についての学習会をし、話し合いを行います。1回目の学習会では、「名張にもあった戦争」について学びました。



蔵持小学校への機銃掃射により銃弾が貫通したピアノが、「被弾ピアノ」として武道交流館いきいきに展示されていることや、テレビアニメ「火垂るの墓」に描かれている神戸大空襲に参加した米軍爆撃機 B29のうちの1機が、青蓮寺に墜落したことなど、名張市内も戦争による被害にあったことや、多くの犠牲者がいたことが分かりました。

他の学校の人と交流する機会は少ないので緊張しましたが、自分の考えを発言したり、相手の発言を聞いたりすることで、改めて戦争の恐ろしさや平和の尊さを知ることが出来ました。



今後は、被爆体験講話を聴かせていただいたりしながら、戦争や平和について考えをより深めていきたいと思っています。そして、12月のふれ愛コンサートで成果発表があるので、しっかりと自分の考えや決意を持って頑張りたいと思います。もし都合がつけば参加してもらえると嬉しいです。これで終わります。